



沿道からの声援を受けて全力疾走

町内各小学校対抗の駅伝大会

町民グラウンド西側で11月9日、町陸上競技協会主催の第19回益城町小学生駅伝大会が行われました。

大会には、町内各小学校から16チーム192人が出場。小学1年生～6年生まで男女合わせて12人が17.4kmの周回コースを走り、たすきをつなぎました。

主な大会成績

- 優勝 益城中央スピードスター 1時間9分16秒(大会新)
- 準優勝 広安西小学校Aチーム 1時間10分4秒(大会新)
- 3位 広安西小学校Bチーム 1時間11分5秒



沿道には家族や関係者などが列を連ね、走り抜ける選手を応援



客席間際まで歩み寄り、目の前で講演する大畑氏

親のまなび講演会に約500人参加

くまもと教育の日関連事業

町文化会館で11月8日、くまもと教育の日関連事業として町PTA連絡協議会と町教育委員会が共催する「益城町親のまなび講演会」が行われました。

「親のまなび、答は現場にあり」と題した講演会は講師に、県内の高校のうち6校の校長を歴任し、現在九州ルーテル学院大学客員教授の大畑誠也おおはたせいや氏を招き開催。会場のステージを所狭しと動き回り、自身の持つ体験談を身振り手振りで面白おかしく訴え、PTAや学校関係者約500人を魅了しました。

覚えた英語の発音や表現力を競う

第42回県中学校英語暗唱大会

熊本市男女共同参画センターはあもにいで11月11日、県中学校英語教育研究会主催、県教委、朝日新聞社後援の第42回県中学校英語暗唱大会が行われ、1～3学年の計51チームが、発音や表現力を競いました。

益城中学校から1、3年生のチーム、木山中中学校から2年生のチームが上益城郡代表として出場。緊張の中でも堂々と練習の成果を発揮しました。各学年健闘の結果、2年生の部やののりこで矢野祝子まつもとしおんさん、梅木佳奈うめさんのチームが4位に選ばれ、入賞しました。



大勢の観客の前でも堂々と英語を暗唱し、入賞した木山中生徒

今月の輝く笑顔

